

# 「泉南あなご」養殖プロジェクト —岡田浦漁業協同組合（泉南市）—

- 産官学連携により、それぞれの知識、経験、ネットワークをフル活用した事業展開を図り、より効果の高い地方創生事業を推進。
- 水産業（海）の取組を、市街地を含む「まち」全域の地域活性化に繋げる。

## 漁業の現状

### ◇漁獲量の減少（アナゴ）

・平成16年：140t → 平成30年：3t

- ・泉南市の伝統魚の絶滅危機
- ・漁場の環境変化等による水産業の低迷に伴う「浜」のにぎわい喪失。

## 平成27年度 地方創生事業採択

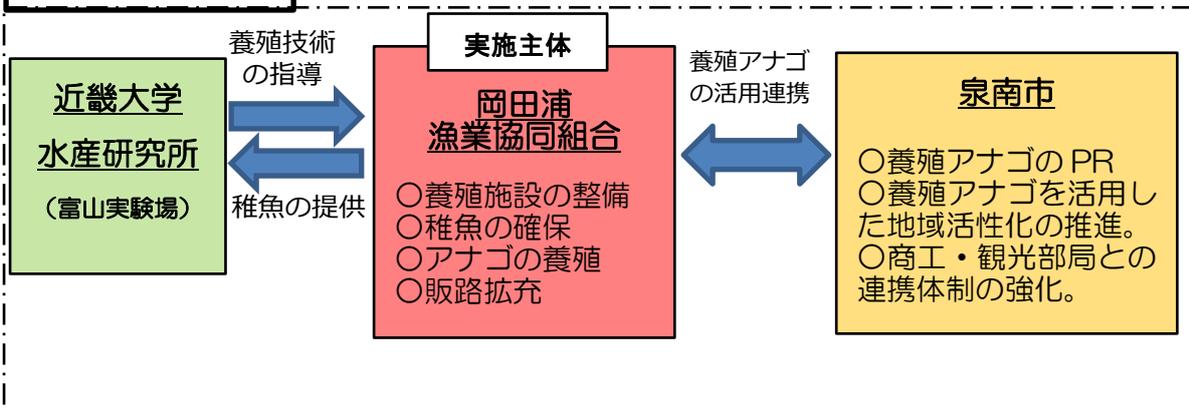
### ○水産資源再生事業（アナゴの養殖事業）

【関係団体：岡田浦漁業協同組合、近畿大学水産研究所、泉南市】

○激減する泉南のアナゴの保全・再生を図り水産業を活性化させるため、養殖に取り組む。

○養殖アナゴを観光資源として活用し、海から市街地（まち）へ繋がる雇用創出・地域活性化を図る。

## 事業推進体制



H28.3.6

「泉南あなご」  
養殖プロジェクト  
キックオフセレモニー

## 【施設整備】

### 【平成27年度】

○循環式養殖2t水槽10基設置（濾過、殺菌、冷却及び加温機材（循環式）2台）

### 【平成28年度】

○海水井戸整備（H=12m、φ200mm）（最大汲上げ量190ℓ/min）

※最高水温26℃により岡田漁港での養殖可

○養殖水槽2t水槽10基増設（海水井戸かけ流し） 合計2t水槽20基

### 【平成29年度】

○循環式養殖2t水槽10基を海水井戸かけ流し改良（循環式、かけ流し両方可）

### 【平成30年度】

○試験井からの取水増設 ○2t水槽3基を活用した濾過槽設置

### 【令和元年度】

○大水槽1基（10t）の導入 合計18基（10t1基・2t17基）

### 【令和2年度】

○大水槽1基（10t）の導入 合計17基（10t2基・2t15基） ○海水井戸増設

## 【養殖技術の確立】

### 【平成27年度】

1. 近畿大学水産研究所富山実験場での実習による技術の習得（H28.1）
2. 近畿大学水産研究所富山実験場のアナゴ（成魚）を取寄せ、養殖に着手（H28.3）

### 【平成28年度】

1. 大阪湾で捕獲した稚魚（2,000匹）による試験養殖の開始【平成28年4月】

2-1. 経営モデルの構築【平成28年7月】

○1,000匹を近大富山実験場へ輸送

2-2. 養殖技術の確立

○1,000匹を岡田浦漁組にて養殖



30g（4月捕獲時）→200gに成長（12月）

### 【平成29年度】

1. 大阪湾で捕獲した稚魚による試験養殖

出荷可能な時期、サイズ、数量の検証（岡田浦漁協3,000匹、近畿大学（富山）2,000匹）

### 【平成30年度】

1. 大阪湾で捕獲した稚魚による試験養殖

出荷可能な時期、サイズ、数量の検証（岡田浦漁協4,000匹、近畿大学（富山）3,000匹）

## 【令和元年度】

1. 大阪湾で捕獲した稚魚による試験養殖
2. 経営計画策定・試験販売

出荷可能な時期、サイズ、数量の検証（岡田浦漁協単独による 12,000 匹）  
1 kg 最大 3,300 円で販売

## 【令和2年度】

1. 大阪湾で捕獲した稚魚による養殖
2. 販売開始

15,000 匹の養殖実施

## 【PR】

### 【平成27年度】

泉南あなご養殖プロジェクトキックオフセレモニー

### 【平成28年度】

1. 加工品でのPR（ふるさと納税返礼品に活用）



2. 各種イベントでの試食提供によるPR

### 【平成29年度】

1. 泉南あなごPR大作戦！2017の開催  
泉南市内店舗で泉南あなご料理販売開始（12月1日～10日）



2. 連携協定調印（ホテル日航関西空港）



3. PR(南海電鉄)



3. 加工品でのPR（ふるさと納税返礼品に活用）

## 【平成30年度】

1. 泉南あなごPR大作戦！2018の開催  
泉南市内外店舗で泉南あなご料理販売開始（12月1日～9日）



2. 泉南あなご加工品販売によるPR



3. 加工品でのPR（ふるさと納税返礼品に活用）

## 【令和元年度】

1. G20大阪サミットへの食材提供（6月）
2. 泉南あなごPR大作戦！2019の開催  
泉南市外店舗で泉南あなご料理販売開始（12月1日～22日）



3. 加工品でのPR（ふるさと納税返礼品に活用）

## 【令和2年度】

1. 加工品でのPR（ふるさと納税返礼品に活用）
2. 泉南りんくう公園マルシェエリアでの販売